

校庭は陽の光を、白く跳ね返して、今は、ただ静かです。

現在、呉三津田高校の気温は、34度です。

被災された皆様、お疲れは出ていませんか？どうか無理をされませんように。

生徒の皆さんは、「何かしたい」と焦ってはいませんか？あなた方にできることの一つに、自分の日常を大切にする…ということがあります。

東日本大震災の折に、岩手県立大槌高校の校庭には、被災地復興のために自衛隊の皆さんが駐屯していました。その時のことです。

大槌高校のブラスバンド部は、毎日練習の最後に、遠くから来てくれている自衛隊員の心を慰めようとして、「ふるさと」の曲を演奏した。すると、一日の作業で疲れていたはずの自衛隊員達も、全員がテントの外ににじり出て、ブラスバンド部の生徒に向かって敬礼を返したというのだ。なにも計算のない、ただ他を思いやる気持ちだけがつくりあげた「つながり」であった。

(『被災後を生きる－吉里吉里・大槌・釜石奮闘記－』p273)

私は、読むたびに、目頭が熱くなります。互いに敬意を持ち、思いやるとは、こういうことなのではないでしょうか。

平成30年7月12日

小路口 真理美